

T&Dインド中小型株 ファンド 愛称:ガンジス

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年2月7日から2026年2月10日まで	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	外国投資法人「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド(米ドル建)」および親投資信託「T&Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象とします。原則として為替ヘッジは行いません。	
	ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド(米ドル建)	インドの証券取引所に上場する株式のうち、中小型株を主要投資対象とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
	T&Dマネープールマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。	
	ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド(米ドル建)	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において純資産総額の10%以下とします。
	T&Dマネープールマザーファンド	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

第24期運用報告書（全体版）

（決算日 2023年2月10日）

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「T&Dインド中小型株ファンド」は、2023年2月10日に第24期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			Nifty Midcap 100 (円換算)		債券 組入比率	債券 先物比率	ライジング・インディア・ フォーカス・ファンド・ リミテッド アイプロ・ インド中小型株ファンド (米ドル建) 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
20期 (2021年2月10日)	10,435	100	32.5	32,655.26	41.2	—	—	94.3	7,440
21期 (2021年8月10日)	11,483	500	14.8	41,224.87	26.2	—	—	95.6	5,745
22期 (2022年2月10日)	11,758	500	6.7	46,758.65	13.4	—	—	95.8	5,054
23期 (2022年8月10日)	12,007	500	6.4	51,567.23	10.3	—	—	95.9	4,742
24期 (2023年2月10日)	10,892	500	△ 5.1	49,411.23	△ 4.2	—	—	95.5	5,239

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドはベンチマークを設定しておりません。参考指数としてNifty Midcap 100 (円換算) を記載しております。参考指数はインドルーピー建てのNifty Midcap 100【出所：Bloomberg】を当社が独自に円換算したものです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Nifty Midcap 100 (円換算)		債券 組入比率	債券 先物比率	ライジング・インディア・ フォーカス・ファンド・ リミテッド アイプロ・ インド中小型株ファンド (米ドル建) 組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率			
期首 (前期末) 2022年8月10日	円	%		%	%	%	%
8月末	12,007	—	51,567.23	—	—	—	95.9
9月末	12,564	4.6	54,925.85	6.5	—	—	96.4
10月末	12,369	3.0	53,399.80	3.6	—	—	96.0
11月末	12,714	5.9	55,734.66	8.1	—	—	96.0
12月末	12,389	3.2	53,828.88	4.4	—	—	95.3
2023年1月末	11,589	△3.5	50,241.69	△2.6	—	—	94.0
期 末 2023年2月10日	11,216	△6.6	48,318.90	△6.3	—	—	88.1
	11,392	△5.1	49,411.23	△4.2	—	—	95.5

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

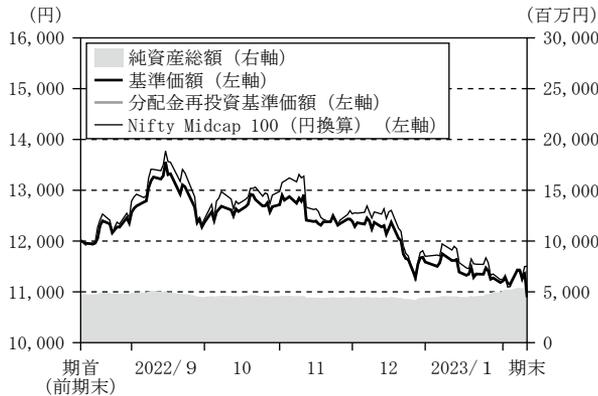
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドはベンチマークを設定しておりません。参考指数としてNifty Midcap 100 (円換算) を記載しております。参考指数はインドルーピー建てのNifty Midcap 100【出所：Bloomberg】を当社が独自に円換算したものです。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第24期首：12,007円

第24期末：10,892円（既払分配金500円）

騰落率：△5.1%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2022年8月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- （注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型ファンド（米ドル建）」を通じてインド株式への投資を行いました。インドルピーが対円で下落したことが基準価額（分配金再投資ベース）下落の主な要因となりました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）	△2.2%
T&Dマネープールマザーファンド	△0.0

■ 投資環境

【インド株式市場】

当期のインド株式市場は上昇しました。期初から2022年9月末までは、7月インドCPI（消費者物価指数）の伸びが鈍化し、インフレ懸念が和らいだこと、インド気象当局が9月のモンスーン（雨季）の降雨量は平均を上回る見通しであると発表したこと等を受け、株価は一時上昇する場面もありましたが、FRB（米連邦準備制度理事会）議長が金融引締めによるインフレ抑制を最優先する姿勢を示したこと、9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）にて3会合連続で大幅な利上げが決まったと共に、FRBが政策金利見通しを大幅に引上げたこと等から、株価は下落に転じました。10月以降は、米国のインフレがピークアウトしたとの見方が広がったと共に、FRBの利上げペース減速期待が高まったこと、10月インドCPIの伸びが鈍化し、インド準備銀行（中央銀行）による積極的な金融引締めへの警戒が和らいだこと等を材料に、株価は上昇基調となりました。12月からは、インド準備銀行が政策金利の引上げを決めたこと、12月のFOMCでFRBが政策金利見通しを市場の想定以上に引上げ、過度な利上げによる景気後退懸念が高まったこと、米投資会社がインド複合企業アダニ・グループについて、相場操縦や不正会計などを実施しているとする報告書

を公表し、投資家の警戒感が高まったこと等から、株価は下落しました。このような環境のなか、期を通じてみると中小型株は大型株を下回る動きとなりました。

【為替動向】

インドルピーは対円で下落しました。期初1.71円で始まったインドルピー円は期末に1.61円まで下落しました。

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.11%から期末は△0.18%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

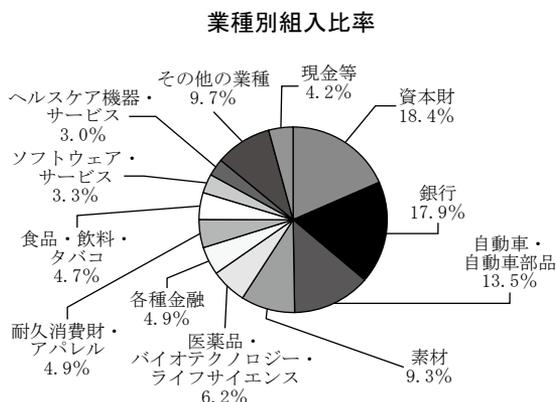
【当ファンド】

「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」および「T&Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」の組入比率は当ファンドの設定解約の状況により変動しましたが概ね高位を保ち、「T&Dマネープールマザーファンド」の組入比率は概ね1%程度を維持しました。

【ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）】

銘柄選択にあたっては、インドの高度経済成長期において高い成長が期待でき、相対的に割安と考えられる株式を選定し、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、注射用医薬品などの受託製造を手掛けるGland Pharma Limited、電子機器などの受託製造サービスを手掛けるDixon Technologies India Limited等がポートフォリオの収益にマイナス寄与しました。期末時点の株式の組入比率は95.8%、組入銘柄数は45銘柄となりました。また、業種別では、Nifty Midcap 100と比較して、資本財・サービス、金融等をオーバーウェイト、エネルギー、コミュニケーション・サービス等をアンダーウェイトとしました。

<ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド(米ドル建)の組入状況> 2023年2月9日現在（現地基準）



組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	Cholamandalam Investment and Finance Co Ltd	各種金融	3.6%
2	SUNDRAM FASTENERS LTD	自動車・自動車部品	3.4
3	Indian Bank.	銀行	3.4
4	Ashok Leyland Ltd	資本財	3.4
5	FEDERAL BANK LTD	銀行	3.4
6	TIMKEN INDIA LTD	資本財	3.3
7	Balkrishna Industries Ltd	自動車・自動車部品	3.0
8	ROLEX RINGS LIMITED	資本財	2.9
9	UNO MINDA LIMITED	自動車・自動車部品	2.9
10	ICICI Bank Ltd	銀行	2.9

※比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

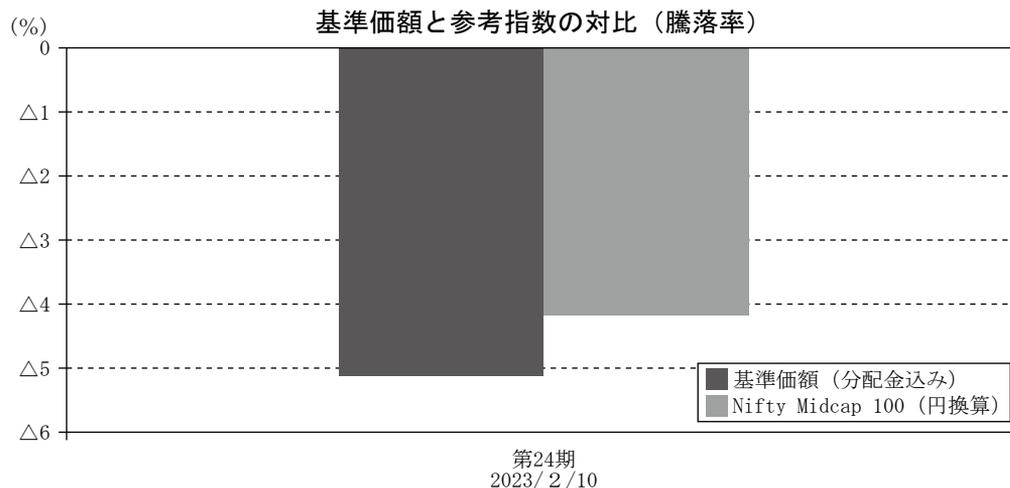
※組入状況は、投資対象ファンドの管理事務代行会社であるAPEX FUND SERVICES (MAURITIUS) LTDより入手したデータをもとに当社が作成したものです。なお、当ファンドへの反映を考慮して、前営業日のデータを表示しております。

【T & Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



基準価額は期首の12,007円からスタートし、期末は11,392円（分配金込み）と5.1%の下落となりました。参考指数であるNifty Midcap 100（円換算）は同期間4.2%の下落となりましたので、参考指数との対比で0.9%下回る結果となりました。基準価額（分配金込み）が参考指数を下回ったのは、「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」で投資するインド株式の銘柄選択が相対的にマイナス寄与したことによるものです。個別銘柄では、国営商業銀行のIndian Bank等がプラス寄与しました。一方、塗料や医薬品の原料を主力とする化学メーカーのVinati Organics Ltd等がマイナス寄与しました。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は基準価額水準、市況動向等を勘案し、500円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

運用の基本方針に従い「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」の組入比率を高位とし、「T&Dマネープールマザーファンド」の組入比率を0～1%程度で維持し、信託財産の中長期的な成長を目指します。

【ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）】

銘柄選択に際しては、株価バリュエーションに留意しつつ、バランスシートが健全で競争力が高く、中長期的な成長が期待できる銘柄に注目しており、選別強化を図る方針です。ポートフォリオ構築に際しては、国内消費関連、国内投資関連、輸出関連といった各投資テーマのバランスを重視する方針です。

【T&Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響を受けながらも、緩やかな持ち直しの動きがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2022年 8 月 11 日から 2023 年 2 月 10 日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2022/ 8 / 11 ~ 2023 / 2 / 10		
	金額	比率	
平均基準価額	12,140円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	75円 (26) (47) (2)	0.616% (0.211) (0.388) (0.017)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	1 (0) (1) (0)	0.009 (0.001) (0.008) (0.000)	(b) その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	76	0.625	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

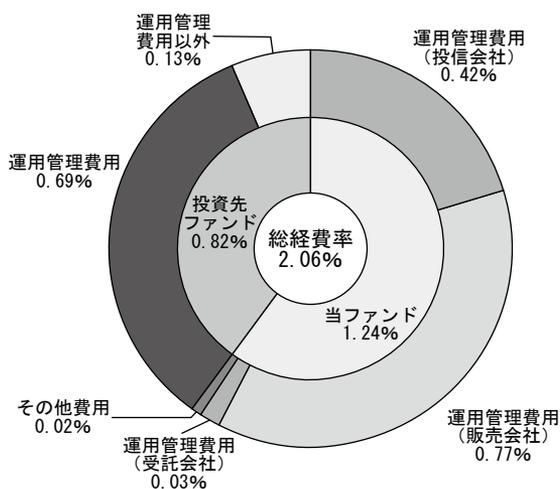
(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、2.06%です。

総経費率 (①+②+③)	2.06%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%



(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2022年8月11日から2023年2月10日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド (米ドル建)	口 30,575	千アメリカ・ドル 8,840	口 12,756	千アメリカ・ドル 3,810

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2022年8月11日から2023年2月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2023年2月10日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首 (前期末)		当 期		末
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド (米ドル建)	口 114,291	口 132,110	千アメリカ・ドル 37,990	千円 5,003,777	% 95.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首 (前期末)		当 期		末
	口 数	口 数	口 数	評 価 額	額
T&Dマネープールマザーファンド	千口 69,040	千口 69,040	千口 69,040	千円 70,000	千円 70,000

(注) T&Dマネープールマザーファンド全体の受益権口数は333,421千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2023年2月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド(米ドル建)	5,003,777	90.4
T & D マネープールマザーファンド	70,000	1.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	460,424	8.3
投 資 信 託 財 産 総 額	5,534,201	100.0

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカ・ドル=131.71円

(注) 当期末における外貨建純資産(5,004,409千円)の投資信託財産総額(5,534,201千円)に対する比率は90.4%です。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年2月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	5,534,201,159円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	460,423,061
ライジング・インディア・フォーカス・ ファンド・リミテッド・アイプロ・ インド中小型株ファンド(米ドル建)(評価額)	5,003,777,843
T & D マネープールマザーファンド(評価額)	70,000,255
(B) 負 債	294,769,094
未 払 収 益 分 配 金	240,513,242
未 払 解 約 金	25,193,770
未 払 信 託 報 酬	28,699,356
未 払 利 息	814
そ の 他 未 払 費 用	361,912
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	5,239,432,065
元 本	4,810,264,843
次 期 繰 越 損 益 金	429,167,222
(D) 受 益 権 総 口 数	4,810,264,843口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,892円

(注) 期首元本額 3,949,643,407円

期中追加設定元本額 1,446,873,394円

期中一部解約元本額 586,251,958円

(注) 1口当たり純資産額は1,0892円です。

損益の状況

当期 自2022年8月11日 至2023年2月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	9,037円
受 取 利 息	57,920
支 払 利 息	△ 48,883
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△199,882,235
売 買 損 益	11,137,435
△211,019,670	
(C) 信 託 報 酬 等	△ 29,101,816
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△228,975,014
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	594,303,803
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	304,351,675
(配 当 等 相 当 額)	(604,252,741)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△299,901,066)
(G) 合 計(D+E+F)	669,680,464
(H) 収 益 分 配 金	△240,513,242
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	429,167,222
追 加 信 託 差 損 益 金	304,351,675
(配 当 等 相 当 額)	(604,252,741)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△299,901,066)
分 配 準 備 積 立 金	353,816,268
繰 越 損 益 金	△229,000,721

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(604,252,741円)および分配準備積立金(594,329,510円)より、分配対象収益は1,198,582,251円(1万口当たり2,491円)であり、うち240,513,242円(1万口当たり500円)を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2022年8月11日 ～2023年2月10日
当期分配金	500
(対基準価額比率)	4.389
当期の収益	—
当期の収益以外	500
翌期繰越分配対象額	1,991

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

※元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T & Dマネープールマザーファンドの主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

T & Dマネープールマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）

◆当ファンドの仕組みは以下の通りです。

分 類	モーリシャス籍／外国投資法人／米ドル建
運用方針・ 主要運用対象	中長期的な運用財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 インドの証券取引所に上場する株式のうち、中小型株を主要投資対象とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
組 入 制 限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において純資産総額の10%以下とします。
決 算 日	10月31日
分 配 方 針	原則として分配は行いません。（分配方針は変更されることがあります。）
投資顧問会社	インベストメント・プロフェッショナルズ・リミテッド（所在地：モーリシャス）
投資助言会社	インベスコ・アセット・マネジメント（インド）プライベート・リミテッド（所在地：インド）

次ページ以降の記載は、インベストメント・プロフェッショナルズ・リミテッドより入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書

計算期間：2021年11月1日～2022年10月31日

単位：USD

受取配当金	300,877
その他収益	67,353
収益合計	368,230
運用報酬	252,778
管理費用	27,832
受託費用	7,514
監査費用	14,000
金融監督機関に支払う手数料	5,444
税理士に支払う報酬・費用	2,050
外国為替に係る損益	85,354
投資に係る損益	5,194,318
その他費用	25,181
仲介手数料および取引手数料	30,777
その他の取引費用	33,353
費用合計	5,678,601
税引前損益	(5,310,371)
税金	185,672
運用による純資産増減額	(5,124,699)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2022年10月31日

銘 柄 名	株 数	評価額	比 率
		USD	%
AIA Engineering Ltd	28,250	919,484	3.07
Ajanta Pharma Ltd	34,500	542,225	1.81
Ashok Leyland Ltd	609,000	1,133,097	3.78
Atul Ltd	4,900	497,967	1.66
Balkrishna Industries Ltd	35,200	838,523	2.80
Bank of Baroda	374,000	670,440	2.24
Bharat Electronics Ltd	917,000	1,189,190	3.97
Birla Corporation Ltd	70,400	788,646	2.63
Can Fin Homes Ltd	100,000	636,398	2.12
Cholamandalam Investment and Finance Co. Ltd	119,600	1,029,673	3.43
City Union Bank Ltd	292,500	660,308	2.20
Crompton Greaves Consumer Electricals Ltd	131,000	576,033	1.92
Dixon Technologies India Ltd	8,500	465,949	1.55
Federal Bank Ltd	517,000	825,133	2.75
Gland Pharma Ltd	15,000	324,847	1.08
Gujarat Gas Ltd	74,500	468,917	1.56
Honeywell Automation India Ltd	1,500	716,068	2.39
ICICI Bank Ltd	88,000	970,534	3.24
Indian Bank	373,000	1,149,421	3.83
JB Chemicals & Pharmaceuticals Ltd	12,600	301,797	1.01
Jindal Steel & Power Ltd	87,000	485,560	1.62
Krishna Institute of Medical Sciences Ltd	26,000	468,716	1.56
Krsnaa Diagnostics Ltd	52,425	301,054	1.00
L&T Technology Services Ltd	20,500	880,501	2.94
Mphasis Ltd	30,900	741,997	2.48
PB Fintech Ltd	49,000	229,587	0.77
Persistent Systems Ltd	11,500	515,455	1.72
PNC Infratech Ltd	228,000	713,940	2.38
Rolex Rings Ltd	35,200	863,473	2.88
SBI Cards & Payment Services Ltd	42,500	426,401	1.42
Sundram Fasteners Ltd	99,100	1,126,330	3.76
Tata Power Co. Ltd	231,400	634,716	2.12
Timken India Ltd	30,050	1,094,342	3.65
United Spirit Ltd	79,400	863,785	2.88

銘 柄 名	株 数	評 価 額	比 率
		USD	%
UTI Asset Management Co. Ltd	90,000	766,427	2.56
V.I.P. Industries Ltd	104,000	943,017	3.15
Varun Beverages Ltd	46,500	592,048	1.97
Vinati Organics Ltd	42,100	974,586	3.25
Voltas Ltd	73,600	782,688	2.61
ZF Commercial Vehicle Control Systems India Ltd	4,050	502,786	1.68
合 計		28,612,059	95.44

(注) 日付は現地基準です。

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第36期（決算日 2022年12月12日）
（計算期間 2022年6月11日から2022年12月12日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2022年12月12日に第36期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純資産総額
	円	騰 落 中 率 %					
32期（2020年12月10日）	10,151	△0.0	—	—	—	—	百万円 430
33期（2021年6月10日）	10,148	△0.0	—	—	—	—	430
34期（2021年12月10日）	10,145	△0.0	—	—	—	—	409
35期（2022年6月10日）	10,143	△0.0	—	—	—	—	396
36期（2022年12月12日）	10,140	△0.0	—	—	—	—	348

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率	債券組入比率 %	債券先物比率 %
		%		
期首 (前期末) 2022年 6 月 10 日	10,143	—	—	—
6 月末	10,143	0.0	—	—
7 月末	10,142	△0.0	—	—
8 月末	10,142	△0.0	—	—
9 月末	10,142	△0.0	—	—
10 月末	10,141	△0.0	—	—
11 月末	10,140	△0.0	—	—
期 末 2022年12月12日	10,140	△0.0	—	—

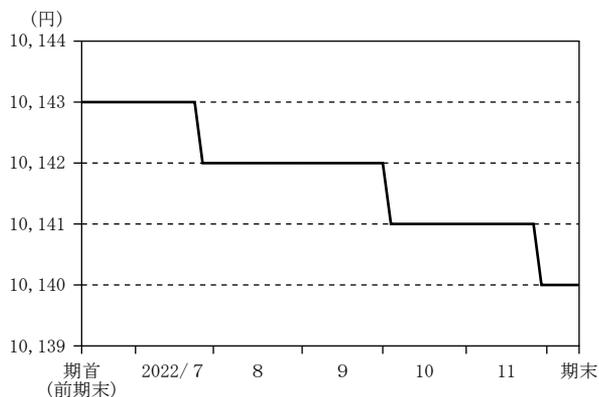
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,143円から期末は10,140円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.10%から期末は△0.18%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響を受けながらも、緩やかな持ち直しの動きがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2022年6月11日から2022年12月12日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2022/6/11~2022/12/12	
	金額	比率
平均基準価額	10,141円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

(注) その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2022年6月11日から2022年12月12日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2022年6月11日から2022年12月12日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2022年12月12日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2022年12月12日現在)

項目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
コール・ローン等、その他	千円 348,187		% 100.0
投資信託財産総額	348,187		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	348,187,217円
コール・ローン等	348,187,217
(B) 負 債	682
未 払 利 息	682
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	348,186,535
元 本	343,371,912
次 期 繰 越 損 益 金	4,814,623
(D) 受 益 権 総 口 数	343,371,912口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	10,140円

(注) 期首元本額 390,707,944円
 期中追加設定元本額 4,308,880円
 期中一部解約元本額 51,644,912円

(注) 1口当たり純資産額は1,0140円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

T&Dインド中小型株ファンド	69,040,591円
米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型) 円ヘッジ・コース	1,653,709円
米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型) 通貨プレミアム・コース	28,961,659円
米国リート・プレミアムファンド(年2回決算型) マネープール・コース	88,475円
豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)	13,377,036円
野村エマージング債券投信(円コース) 毎月分配型	15,203,451円
野村エマージング債券投信(円コース) 年2回決算型	4,690,232円
野村エマージング債券投信(米ドルコース) 毎月分配型	6,884,550円
野村エマージング債券投信(米ドルコース) 年2回決算型	1,424,313円
野村エマージング債券投信(豪ドルコース) 毎月分配型	13,394,468円
野村エマージング債券投信(豪ドルコース) 年2回決算型	1,651,239円
野村エマージング債券投信(ブラジルリアルコース) 毎月分配型	124,252,174円
野村エマージング債券投信(ブラジルリアルコース) 年2回決算型	7,765,966円
野村エマージング債券投信(南アフリカランドコース) 毎月分配型	1,413,489円
野村エマージング債券投信(南アフリカランドコース) 年2回決算型	131,726円
野村エマージング債券投信(カナダドルコース) 毎月分配型	555,674円
野村エマージング債券投信(カナダドルコース) 年2回決算型	71,774円
野村エマージング債券投信(メキシコペソコース) 毎月分配型	23,292,362円
野村エマージング債券投信(メキシコペソコース) 年2回決算型	3,988,327円
野村エマージング債券投信(トルコリラコース) 毎月分配型	15,489,184円
野村エマージング債券投信(トルコリラコース) 年2回決算型	2,464,915円
野村エマージング債券投信(金コース) 毎月分配型	3,974,765円
野村エマージング債券投信(金コース) 年2回決算型	2,773,196円
野村エマージング債券投信(マネープールファンド) 年2回決算型	828,637円

損益の状況

当期 自2022年6月11日 至2022年12月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 103,688円
受 取 利 息	322
支 払 利 息	△ 104,010
(B) 信 託 報 酬 等	△ 35
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△ 103,723
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	5,592,314
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	61,120
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 735,088
(G) 合 計 (C+D+E+F)	4,814,623
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	4,814,623

(注) 損益の状況の中で

(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。